

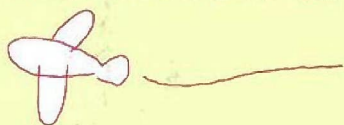
地球の歩き方

GLOBE-TROTTER TRAVEL GUIDEBOOK www.arukikata.co.jp

2023~24

北海道

Hokkaido



New



どさんこ コラボ

旅の大事典!

179市町村徹底紹介
縄文遺跡から感動の絶景まで
圧巻の1700件掲載
特別映像100本付き

Gakken



レンタカー利用の流れ

- 1 予約をする**
レンタカー会社、旅行会社などのホームページから、または電話で予約。その際に車種、オプション、保険・補償などを選ぶ。
- 2 到着後窓口へ**
空港のレンタカーの窓口で予約の旨を伝え、配車場所まで車で移動する。手続き後、用意されたレンタカーに乗り。
- 3 出発前のチェック**
ガソリンが満タンであることをチェックし、目的地をカーナビに登録、高速道路を利用する場合はETCカードをセット。
- 4 返却**
返却予定時間に遅れないよう、指定のガソリンスタンドか、返却場所最寄りのガソリンをスタンドで満タンに。

レンタカーの料金の目安(24時間)

軽:コンパクトカー 7500円～
ミニバン/ワゴン 1万2000円～
SUV 1万1000円～
輸入車 1万5000円～
北海道には夏季料金があり、7～8月は料金が跳ね上がる。予約が取りにくいうえに1日につき3000円以上も高くなるというダブルパンチ。節約するなら行く時期を検討しよう。

エコノミー車24時間
基本料金 7150円～
夏季料金 1万4500円～
※トヨタレンタカー調べ

レンタカー乗り捨て料金の目安

料金はレンタカー会社により異なる。トヨタレンタカーの場合、札幌～旭川は5500円。札幌～函館、帯広は7700円、釧路、根室、稚内はすべて9900円(RV車やミニバンを除く)。

トヨタレンタカー
rent.toyota.co.jp

2 レンタカー

北海道旅で最も便利な移動手段がレンタカー(またはマイカー)。電車の走っていない地域、バスの本数が少ない場所が多い北海道で、車ならいつでもどこへでも行くことができる。移動時間と滞在時間を考えつつ、効率よく旅のプランが立てられるだろう。本州からカーフェリーを使えば、マイカーで道内を走ることも可能だ。レンタカーは各空港、JRの主要な駅などで借りられるほか、宿泊施設でも手配も頼める。台数が限られているので、夏のシーズン中は早めの予約がおすすめ。

北海道のレンタカー

レンタカーが便利なエリア

札幌、小樽、函館の3都市に限っては、公共交通機関を利用して観光ができる。レンタカーだと駐車場を探す手間ばかりか、駐車場料金も予想外にかかる。都市よりも郊外に見どころの多いスポット、たとえば富良野、美瑛、ニセコや、自然が見どころの知床や摩周湖、阿寒湖などは、レンタカーを利用すると時間のロスなく観光できる。



十勝牧場の白樺並木(→P.285)を走る

レンタカーの予約方法

レンタカーのみなら、レンタカー会社に電話で申し込む、または公式ホームページから予約を入れる、インターネットの旅行サイトから予約をする、などの方法が一般的。航空会社や旅行サイトで航空券、宿泊、レンタカーの一括手配ができ、2週間以上前の予約だと割安になる。JRとレンタカーのセットで乗車券や特急券が割引となる「レール&レンタカーきっぷ」(→P.73)もある。北海道に來てからの申し込みは、各都市にあるレンタカー会社か、旅行会社、一部の宿泊施設などでも行える。

レンタカーの車種

車種は軽自動車、コンパクトカー、ミニバン、アウトドア用のSUVなど人数と用途によって選べる。さらにエコノミーからスタンダード、ラグジュアリーまで各種クラスがある。カーナビとETC車載器はほとんどの車に標準装備されている。チャイルドシートやスキー、スノーボードのキャリア、4WD車などはオプションとなるので、予約時に追加しよう。観光シーズンはリーズナブルな車種から予約で埋まってしまうので、早めのキープを心がけたい。



日高山脈を望む幕別町志類の国道236号

キャンピングカーのレンタル

広い北海道を走るのにはドライブの醍醐味。憧れのキャンピングカーだってレンタルできる。キャンピングカーレンタル専門店の「北海道ノアドレンタカー」は、新千歳空港近くの千歳店にてレンタルが可能。家族4人で楽しめる日産のバン、キャラバンベースの上級バンコ

ンキャンピングカーから、ラグジュアリーなベンツのバンキャンパーまで8種類の車両を用意している。そのほかベットと同乗できる車や、BBQセットや寝具、ランタンなどオプションもある。



キャンピングカーで旅を楽しむのも

基本の保険とオプション

レンタカーを借りる際には保険加入が必要。レンタカー料金に含まれるのは基本の補償のみ。対人、対物(免責額5万円)、車両補償(車両時価額まで補償だが免責額は5万円、大型車は10万円)、人身傷害補償が適用される。事故により車両の修理や清掃などが必要になった場合には、ノンオペレーションチャージがかかり、返却店舗に自走できる状態は2万円、自走できない場合は5万円が課される。この自己負担金を免除する免責補償制度があり、24時間ごとに追加料金を支払うことで対物と車両の免責額が免除される。さらに免責額とノンオペレーションチャージもカバーする安心のプランもある。

どこで借りてどこで返却するか

空港で借りて同じ空港で返却するのが一般的だが、北海道では必ずしもループ状に旅するとは限らない。そんなときに便利なのが「乗り捨て(ワンウェイ)」だ。レンタカーを借りる空港(または市内)と、返却する空港(または市内)を変えることでバリエーションに富んだプランが立てられる。ただし、空港から最寄りの都市で返却する場合を除き、乗り捨て料金が別途、必要となる。

返却時のガソリン

レンタカー返却時はガソリンを満タンにするのが基本。通常レンタカーを借りたときに、返却時に給油するガソリンスタンドを指定される。もし時間がないなどの理由で給油できない場合は、走行距離精算をしてもらう。ただし、満タン返しよりも料金が高くなるケースが多い。給油口がどちらにあるかは、運転席前の距離や速度が表示されるインパネ(インストルメントパネル)に、給油口の方向が示されているので確認できる。



三角のある方向が給油口だ

返却は早めに

レンタカーの返却場所(営業所)は、空港から離れた場所にある。手続きを終えてシャトルバスで空港まで送迎してもらうのに時間がかかるので、遅くとも出発の1時間前には到着するようにしたい。

レール&レンタカーきっぷ

JRと駅レンタカーをセットで申し込むとJRの乗車券・特急券・グリーン券の料金が割引されるプラン。グループで利用する場合は全員割引となるが、追加発売は不可。またゴールデンウィークやお盆、年末年始は割引はない。詳しくは「JR駅レンタカー」で確認。
www.ekiren.co.jp

おもな利用条件

- JR線の営業キロを片道・往復・連続で201km以上利用すること。
- 最初にJR線を利用し、出発駅から駅レンタカーのある駅までの営業キロが101km以上離れていること。
- JR線と駅レンタカーの利用が連続していること。

キャンピングカー

キャンピングカーレンタル専門店。キャラバンベースの車両から輸入の大型キャンピングカーまで8タイプの車両を用意している。
北海道ノアドレンタカー
1日1万8700円～
nomad-r.jp



キャンピングカーなら愛犬と一緒に旅ができる

離島料金について

利尻島と礼文島のレンタカーは離島料金が設定されていて、エコノミークラスが24時間で約2万円(ガソリン料金、免責保険料含む)。レンタカーをフェリーで運ぶか(稚内～利尻島間片道1万2830円～、運転者2席運賃込み)、島内で借りるか、事前によく検討しよう。

ペット連れの旅行

近年はペットを連れて旅する人も増えている。レンタカーにペットを乗せる場合は、事前にその旨を伝えての予約が必要。通常は中型のケージに入る体重10kgまでの犬・猫に限られる。車内ではペットはケージ内に入れたまま移動すること。著しい臭気・汚損・破壊にはノンオペレーションチャージがかかる。